

# 2005 大会プレイバック

## <マスターズ甲子園2005・第2回大会>

星野仙一氏が大会名誉会長に就任

～地方予選大会に5006名、甲子園大会には641名が出場～



第2回大会では、この第1回大会の感動と興奮が各地に広がり、全国の地方予選が12府県・10地方ブロック予選大会に拡大し、計5006名の元球児が各地方のかつてのホーム球場で熱い闘いを繰り広げました。そして夢の全国舞台である甲子園球場には最高齢70才より最年少19才まで、キャッチボール等の参加者を含め、総勢641名の高校野球OB/OGが甲子園の土を踏み、その中の約9割の選手が長年夢観ていた甲子園デビューを実現しました。今年度大会からは、夢と挑戦のシンボルである星野仙一氏が本大会名誉会長に就任され、「おっさんよ、夢を持って！」という同氏からのメッセージが、全国の元球児のハートを再点火させました。また、本大会は阪神・淡路大震災10周年記念事業として認定され、これまでの被災地における復興への努力を称え、マスターズ甲子園の掲げる未来に向けての限りなき挑戦と希望のメッセージを、被災地である西宮の甲子園球場から全国に発信しました。大会2日目は雨天順延となり、1ヶ月後の12月5日に再プレーボールとなりましたが、選手やボランティアの夢のスタミナが大会の成功をもたらし、苦難を乗り越えて夢を叶えていくドラマを皆で実現した記念すべき第2章を刻みました。

